

事務局だより

会議報告

平成29年10月1日より平成30年3月31日まで

◆第17回理事会

月日…平成30年3月1日

場所…主たる事務所

出席…理事・監事

決議事項…

- ① 自平成30年4月1日至平成31年3月31日事業年度に係る事業計画及び収支予算書の件
- ② 資金調達及び設備投資の見込みの件
- ③ 顧問就任の件
- ④ 報告事項…

- ① 中国本部設立の報告
- ② 役員退任の報告

- ③ 自平成29年6月6日至平成30年2月28日の理事長および専務理事の職務執行の報告
- ④ 会員数の報告

会員数報告

(平成30年2月20日現在)

賛助会員	93件
団体・法人会員	85件
個人会員	1,205名
合計	1,383件

平成30年度会員証および特典パンフレット

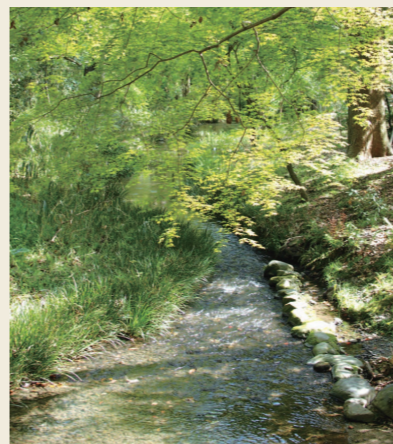
平成30年度の会員証は6月下旬にお届けいたします。平成29年度会員証は6月30日まで有効ですのでご利用いただけます。

新入会員ご紹介のお願い

多くの方に世界遺産糸の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご紹介をよろしく願っています。ご連絡いただければ「入会案内パンフレット」をお届けいたします。

ご寄付のお願い

平成29年度も多くのご寄付をいただき、糸の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございます。平成30年度も引き続きましてご寄付を賜りますようお願いいたします。同封の振込用紙をご利用ください。



下鴨神社だより

行事日程

- 4月29日 市民植樹祭 (午前9時～)
- 5月3日 流鏝馬神事 (午後1時～)
- 5月12日 御蔭祭 (午前9時～)
- 5月15日 賀茂祭／葵祭 (午前11時40分～)



- 6月9日 螢火の茶会 (午後5時～)
- 7月20日～29日 みたらし祭 (午前5時半～)
- 8月6日 矢取り神事 (午後6時半～)
- 9月24日 名月管絃祭 (午後6時半～)

糸の森



糸の森財団会報

平成30年3月31日発行
通号65号

Vol. 17

糸の森ぶらりぶらり 第16回

「人の顔を輝かせる聖地・糸の森」

糸の森NEWS／催事案内

表紙写真／中田 昭

編集・発行

公益財団法人

世界遺産賀茂御祖神社境内糸の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.tadasunomori.or.jp



題字
賀茂御祖神社
新木直人宮司

糺の森財団

理事 永島 宣彦

(京都新聞社代表取締役社長・主筆)



皆様には日頃より、糺の森財団の諸事業にお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、文化財社殿や自然、歴史文化などへの長年にわたる保全活動が実を結び、確かな成果を残しつつあります。

糺の森は新古今和歌集や源氏物語にその名が歌として詠まれています。現代にいたるまでの長い歴史の中ではさまざまな移り変わりがありました。応仁文明の乱では、兵火により社殿を含む森の大半が焼失し、明治の上知令では当時の境内の六割近くが没収されました。また、隣接する鴨川は平安時代に何度も氾濫したため、樹木が被害を受けた事も珍しくなかつたと推察されます。近年では、昭和九年の室戸台風と翌年の洪水により、森の木が百本以下に減少するなど、自然災害の影響も多く受けてきました。

森の保存としては、明治時代中頃に神社と市民により境内の環境保護活動を目的とした団体が設立されました。その後、昭和に入り名称を変更するなど再編を重ねて現在の糺の森財団に至っております。社殿を含む糺の森は、苦境に陥るたびに人々の手により、復興と回復を遂げてきたのです。森の歴史をひもとくと、いまの森の姿が大変貴重であることに気付かされます。

古くから日本人は、「人は自然に生かされている」という考えを持っています。人の暮らしとは、自然環境と相互に関係を築きながら営むものです。自然に感謝する心を育み、貴重な文化遺産を守り伝えるため、会員の皆様には当財団の活動に引き続きご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

人の顔を輝かせる聖地・糺の森

下鴨神社総代・

下鴨神社京都学問所理事

小松 明

◇幸福感と健康を与える森

昨年大阪大学の竹文雄教授が、神社の周辺で育った人は人を信頼し恩を返したいと考える傾向が強く、労をいとわず人助けをしようとする志向が見られ、それに伴う行動が幸福感や健康にも良い影響を与えているという研究成果を発表された。

その影響を受けると思われる位置に我が家は少なくとも江戸時代からある。糺の森に鎮座する摂社河合神社の真西に当り、下鴨本通を挟んだ松原町にある。大正昭和の郷土史家である田中緑紅が叢書「京の町名の



糺の森
ぶらりぶらり
第十六回



柄であったと聞かされている。本通側は石垣が組まれて、現在は通れなくなっているが、江戸時代や明治の絵図にも描かれている由緒ある道である。森へ参進できる図子小道は「御幸路」「神事道」「祭場野道」などがあり、現在も残っている。どの小道も用途によって本宮に参進したのであろうと推察できる。遷宮関連事業の一環として、森に今年再興される「斎王神霊社」がお祀りされる際に、唯一姿を消したこの「御成道」という小道を再現出来ないものかと思う。

糺の森鳥瞰図・葵祭」が立っている。最近この前に、多くの観光バスが停車して、その宣伝効果は抜群だと感じる。是非あと2枚加えて欲しい。1枚は御蔭祭のもの、もう1枚は足つけ神事の御手洗祭のもの。2年前から下鴨本通の祭巡行でこの前を通る時、参列者からの要望が多い。また神社の代表的な神事の一つとなっている御手洗祭も、同様に色んな人々から看板が欲しいと聞く。我が家の中からこの大看板を観ると、賀茂御祖神社（下鴨神社）のご加護を実感できる。

◆関西ラグビーの聖地の森



昨年5月、ラグビーワールドカップ2019日本大会組合せ抽選会当日、出場国のヘッ

年にこの馬場で、旧制三高生が慶応義塾生と一緒に関西で初めてラグビーボールを蹴ったことを記念して、昭和44年に石碑が立てられた。いわば関西ラグビー発祥の地ということになる。当時は仮宮が建っていたが、昨年11月に日本ラグビー協会役員として、森善朗元総理大臣や東洋人初のラグビー殿堂入りを果たした世界のサカタこと坂田好弘氏が参列され、厳粛に遷座奉祝祭が斎行された。「魂」が「玉」に通じるといふことで、球技の神が御座す森というラグビー界の精神的な聖地の森になった。W杯開催に向けて、益々参拝者で賑わい、神様もお慶びになられることだろう。

◆糺の森をぶらりぶらり

人の顔を輝かせる力が漲る糺の森は、訪れる人々の心を魅了していく。糺の森をぶらりぶらり散歩すれば、きっと森に御座す神の存在を、身近に感じて頂けるものと信じている。



彌栄

いわれ」で、神館御所のあった所であり、葵祭の時斎王が先ず此所に入って新服に改め本宮に参る処で、小さい森がありここを小松原と呼んでいる。町名が松原町となったと記している。森から20メートルの距離、森との付き合い200年以上を考えると、正しく鎮守の森の恩恵を肌で感じる。

◆我が家の森の入口「御成図子」

丁度、森側社家町の家並が途切れる、森本町南端に「御成図子」という東西の小さな道があった。その西入口に我が家がある。遠くは有事に御所をお守りする、北面の武士の家

◆森の広告大看板

この御成図子のすぐ南側に、現在3枚の写真大看板（北から流鏑馬・

糺の森 NEWS

発行所 公益財団法人
世界遺産賀茂御祖神社境内
糺の森保存会事務局
www.tadasunomori.or.jp

助成対象事業

糺の森財団は平成29年度に実施した糺の森保全事業などに助成いたします

【助成総額・・・14,600,000円】

第2期糺の森整備（神宮寺跡整備事業）

これまで実施した発掘調査をもとに、明治初頭まで糺の森に存在した神宮寺の遺構の保存や明示、公開を目的とした整備事業の初年度工事を実施。

助成額……………8,300,000円

御蔭神社境内保存整備事業

樹根の圧力により歪みが生じ、将来崩壊の恐れがある石垣の積み直し改修に伴う事前調査。

助成額……………1,400,000円

境内環境保全事業

糺の森内及び周辺の、倒木や枯れ枝落下の危険がある樹木の伐採や枝打ち工事、また参道や境内の砂敷き均し工事。

助成額……………3,300,000円

重要社殿「鴨神社神館御所」整備工事

鴨神社神館御所の耐震診断を行うための調査を実施。

助成額……………850,000円

流鏑馬神事の保存と騎射育成事業

毎年5月3日に行われる、流鏑馬神事の実施と後継者育成事業

助成額……………500,000円



葵の庭整備工事

大炊殿葵の庭の剪定整備工事

助成額……………250,000円

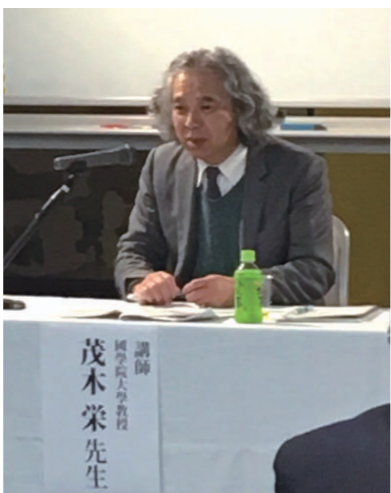
世界遺産糺の森文化講演会 開催

平成29年秋講座

「大和は国のまほろば」日本人は如何に風土を意味付けてきたか

平成29年12月9日に

下鴨神社の公文所において、國學院大學神道文化学部教授で神道の研究で知られる茂木栄氏を講師にお迎えして開催いたしました。神社の「社」は「杜」と同義であるという立場から、杜が持つ自然観と生命観について、興味深い内容で講演をしていただきました。



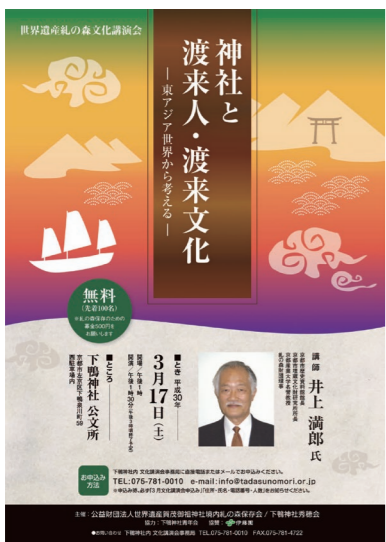
講師 茂木栄先生

平成30年春講座

「神社と渡来人・渡来文化 東アジア世界から考える」

平成30年3月

17日に下鴨神社の公文所において、京都市歴史資料館館長で日本古代史の研究で知られる井上満郎氏を講師にお迎えして開催いたしました。



末社雑太社 社殿復興

約60年ぶりに雑太社の社殿が
糺の森に復興されました



かつて森にあった社殿は、老朽化に伴う造替により解体された後、物資不足などの事情により再建延期を余儀なくされました。その間御神体は、摂社三井神社に遷されて祭事が行われていましたが、このたび第34回式年遷宮事業として平成29年11月、糺の森に新設された社殿への遷座祭が斎行されました。

明治43年、糺の森の馬場において旧制第三高等学校（現京都大学）と慶應義塾大学の学生が、関西で初めてラグビーボールを蹴ったことから、糺の森は関西ラグビー発祥の地と言われており、雑太社の隣には記念碑

下鴨神社
京都学問所だより

本年、平成三〇年は元号が明治に改元され一五〇年となる年です。各所で「明治」をテーマにした催しが企画・開催されています。当学問所でも一年を通じて、明治一五〇年をテーマにした展示を開催しております。

現在、鴨社資料館秀穂舎において、文久三年（一八六三）三月一日の賀茂社行幸から一五五年を記念として「孝明天皇・文久度行幸資料展「文久度行幸一五五年記念」」を開催しております。この行幸は約二一〇年ぶりに行われ、公卿、諸大名だけでなく、行列を見るために押し掛けた数万人の京の人々に多大なる影響を与えました。

主な展示品に、孝明天皇が乗御なされた御鳳輦を中心に描かれた『孝明天皇賀茂行幸絵巻』や、行幸当日の下鴨社境内の様子を克明に記録した「孝明天皇行幸境内舗設図」などを展示しております。

また、三月末までは、孝明天皇の女御の英照皇太后（母方が下鴨社氏人の南大路家出身）や皇女親子内親王（和宮）の命婦の能登（本名、鴨脚克子。下鴨社社家の鴨脚家出身）の関係資料を展示しました。

四月から六月末日までは、同じ文久三年に斎行されました賀茂祭（葵祭）と式年遷宮関係資料を展示します。なかでも両祭で奏上されました「御祭文」は異例なものです。御祭文には登場しない「攘夷」の文言が長文で書き加えられているところから、孝明天皇の強い大御心を感じ取ることが出来る資料となっています。

幕末の激動期に下鴨社が歴史の舞台となっていたことを知っていただける場となればと思います。

催事案内

遊び、学ぶ、糺の森のつどいあれこれ

第28回 糺の森市民植樹祭

日時：4月29日(日・祝)
午前10時～12時
場所：糺の森馬場特設会場



※学術的、文化的に貴重な自然林の世界遺産の「糺の森」を守るため、毎年多くの方に参加いただき実施しています。

苗木植樹

子どもも大人もどなたでも参加いただけます。ムク・エノキ・カツラなど約50cmの苗木を植樹していただきます。お気軽にご参加ください。

参加費：1,000円(1名) ※スコップ・花鉢を進呈
申込：当日9時から会場受付にて

成木献木

子どもや孫の誕生、結婚周年など記念に成木を植樹して、森に思い出を残してください。お問合わせ、お申込みは事務局まで。

献木代：150,000円(1本)
事務局：下鴨神社内 ☎075-781-0010
申込：4月10日までにお願います

“春の”糺の森コンサート「音の森」

月日：4月29日(日・祝)5月26日(土)6月23日(土)
時間：午後2時～3時(予定)
場所：河合神社(糺の森南側)
参加：無料(自由)



※新緑と音楽を楽しめるコンサートです。春の一日、気持ちのいい森の中でお楽しみください。

詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 www.tadasunomori.or.jp 下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp
お問い合わせは糺の森財団事務局まで ☎075-781-0010

第28回 螢火の茶会

日時：6月9日(土)午後5時～9時
場所：下鴨神社楼門内

※明治の納涼茶席を再開した「螢火の茶会」。裏千家によるお茶席と境内に舞う螢をお楽しみください。

参加方法

■お茶席 財団会員および招待者のみ参席。会員の方には5月中旬に案内をし、申込みを受け付けます。当日財団入会者も参席可(数に限りあり)。

■螢鑑賞(境内および森) 自由に鑑賞できます。午後7時頃に森散策路に放流。



同時開催

「糺の森納涼市」

時間：午後1時～9時
場所：楼門前

※京菓子・京漬物・お酒など有名老舗約20店が出店します。お買物をお楽しみください。

世界遺産糺の森文化講演会
平成30年夏講座

月日：8月中旬 場所：下鴨神社 参加：無料

※現在内容については検討中です。決定次第、ホームページやチラシなどでご案内いたします。もう少しお待ちください。

「第一蹴の地」があります。また、御祭神の「神魂命」は魂が球に通じる事から球技の神とされ、高校ラグビーの選手や、来年開催されるラグビーワールドカップの関係者など多くの方がお参りに来られています。



「音の森」開催

9月はチェロとピアノのデュオによるチェロ名曲の演奏。10月は前半サクソスカルテットの演奏、後半バリトン歌手による歌唱の2部構成。12月は2人のチェロ奏者によるダブルチェロコンサート。爽やかな秋にふさわしい演奏が糺の森に響いていました。4月から春のコンサートがスタートします。ご期待ください。

